



【面接対策】

## 税理士事務所の面接で 聞くべき逆質問とは？

＼面接で使える具体例も紹介／

## はじめに



税理士事務所の面接では、必ずと言っていいほど行われる逆質問。面接時の逆質問は単なる形式ではなく、実際には非常に重要な役割を果たします。

しかし面接対策の中で、質問に対してわかりやすく端的に回答する練習は多くの方がやりますが、逆質問への対策をしている方は意外と少ないです。

そこで今回は、税理士事務所への転職をお考えのあなたに、面接における逆質問の重要性・失敗例・良い例をご紹介します。

# 目次



- 逆質問の重要性 ...4
- 逆質問のNG行為 5選 ...7
- 逆質問の良い質問例 ...12
- 逆質問の具体的な質問例 ...15
- ミツカルにできること ...18

## 逆質問の重要性



「何もないです」という  
回答は絶対に避ける

### ① 自己アピールの絶好のチャンス

面接官は逆質問を通じて、求職者がその企業にどれほどの志望度を持っているかを判断しようとしています。

そのため「何もないです」という回答は絶対に避けましょう。積極的に逆質問し、意欲や知性を示すことが大切です。

ただ情報を得るためだけでなく、自分自身を面接官にアピールする重要な手段です。逆質問は事前に準備し、企業に対する深い理解と関心を示す質問を用意することが重要になります。

## 逆質問の重要性



### 【質問内容】

入社後を想定した  
具体的な質問をする

### ②他の求職者と差別化できる

逆質問することで、他の求職者と差別化できます。差別化するポイントは入社後を想定した具体的な質問をすることです。

具体的には、求める人物像や仕事の大変な点、将来の経営戦略など、ご自身が税理士として結果を残すために必要な情報を質問をすることで引き出しましょう。

ここで注意すべきは、「なんでも質問すればいいというわけではない」という点です。後半で注意すべき質問について解説するので、ぜひそちらを参考にしてください。



逆質問では、ご自身が理想とする働き方ができるかを確認することができます。これは、自分の価値観や職務に対する期待が、企業の文化や業務方針と合致しているかを見極める絶好の機会です。

また、企業側にとっても求職者が自社の文化や職場環境に適合しているかどうかを判断するための重要な情報を得ることができます。

「転職しなければよかった」という後悔をする前に、この機会を最大限に活用することが重要です。逆質問を通じて、自分にとって最適な職場かどうかをしっかりと見極め、より満足のいく転職をすることができます。

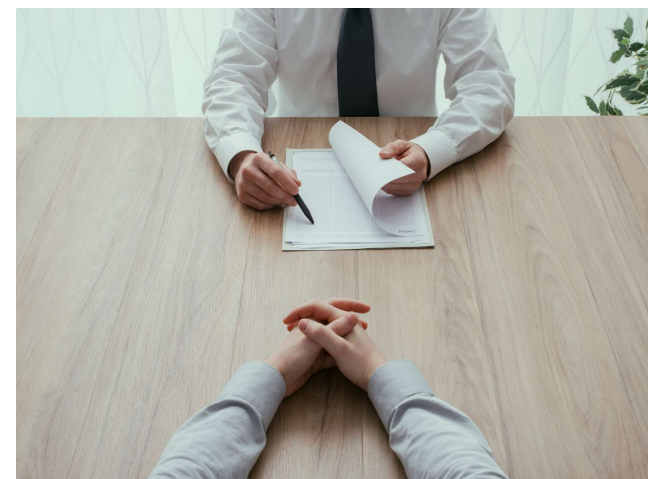
## 逆質問のNG行為 5選

### ① 調べたらわかる / 事前に説明を受けている質問

逆質問では「調べたら分かる情報」「面接中に説明してくれた情報」に関する質問はNGです。

特に、面接する税理士事務所や税理士法人のホームページに記載されているような調べたら分かる情報を逆質問した場合、「何の準備もしていません」と言っているであろうものです。

また、面接で説明してくれた事を聞き返すと、「ちゃんと聞いてなかったのかな？」と不信感を与えてしまいます。



## 逆質問のNG行為 5選

### ② 経営に関する質問

組織のミッションやビジョンについて聞くことはOKですが、事業経費・バイトの人数など細かいことを聞きすぎると、スパイかと疑われてしまいます。

知識や思慮が深い事をアピールしようとしすぎるのはよくありません。こちらは逆質問対策をしすぎた人によく現れる特徴です。





## 逆質問のNG行為 5選

### ③ 待遇面のみを気にする質問

年収や福利厚生、残業、入社後の待遇面などは、仕事を選ぶ上でとても大切なポイントです。

一方で、給与・休日・その他の福利厚生に関する質問ばかりをしてしまうと、受け身な印象を面接官に与えてしまいます。

どうしても確認しておきたい事がある場合は、ミスマッチを無くすために質問してもいいでしょう。ただし、積極的に業務に貢献する姿勢を示した上で、最後に質問することが大切です。

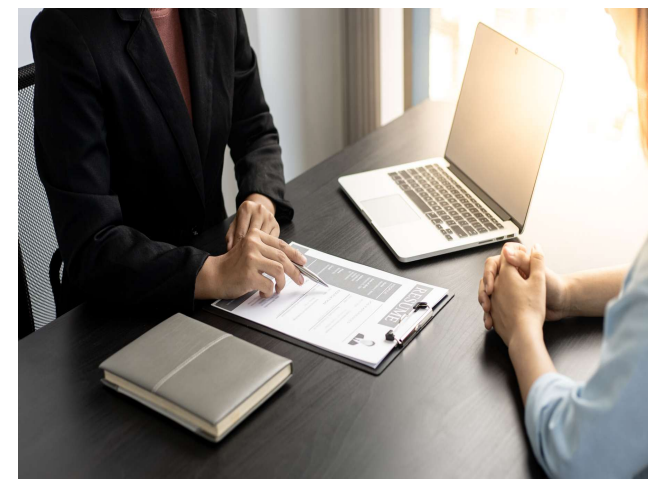


## 逆質問のNG行為 5選

### ④ 態度や言い方が悪い

どれだけ能力が高くても、人間性が備わっていなければ採用されません。質問の仕方だけではなく、姿勢や表情などの態度にも気を付けることが大切です。

「経営課題に関する質問」のようなデリケートな内容は、「御社の業績は素晴らしいと思うのですが、なぜそのような経営課題があるのでしょうか？」といった「ポジティブな前置き」をするよう意識しましょう。



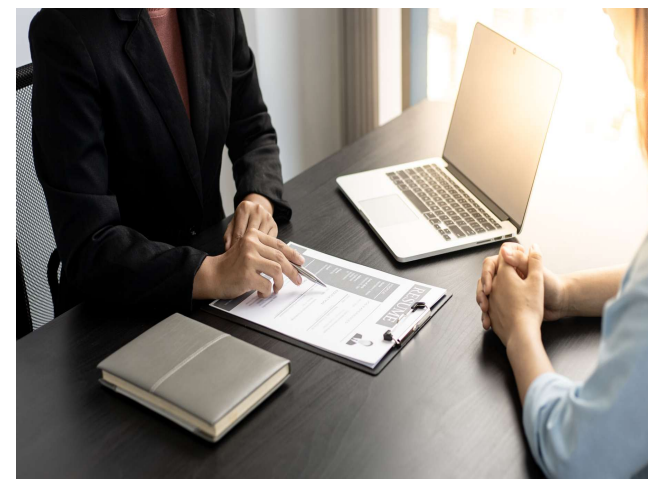
## 逆質問のNG行為 5選

### ⑤ 焦って質問をする

想定していた質問が、既に面接中に回答されている場合、焦って印象を悪くするような質問をしてしまうリスクもあります。

その場合は「お聞きしたいことはいくつかあったのですが、丁寧なご説明だったので解決できました。他に質問はありません」と伝え、無理をしないことも大切です。

また、土壇場で焦らないよう、逆質問は事前にいくつか用意しておくといいでしょう。



## 逆質問の良い質問例

### ポイント1 やりがいを質問する

やりがいなどの質問は面接官にポジティブなイメージを与えることができます。求められる人材や、準備すべきこと、スキルアップのために必要なことに焦点を当てて質問しましょう。

このような質問は、自分自身のキャリアに対する意欲と準備の重要性を示すと同時に、面接官に対して自分がその職場での成長と貢献に真剣に取り組んでいることを印象づけることができます。

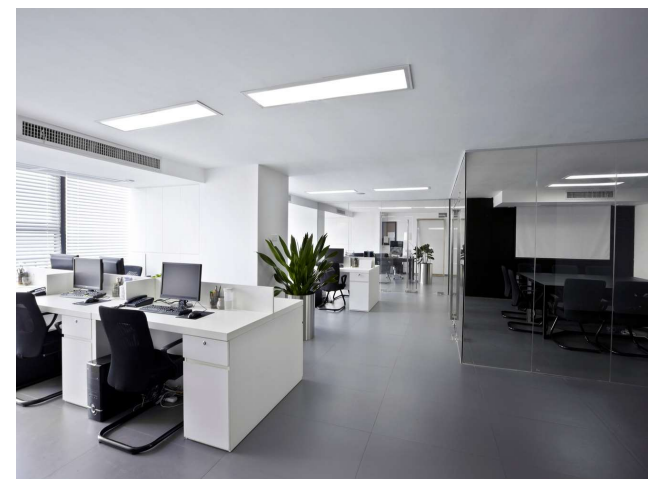


## 逆質問の良い質問例

### ポイント2 企業の魅力やビジョンを質問する

企業の将来のビジョンや現在の課題について深く掘り下げて質問することで、その企業が自分のキャリア目標や働き方に合っているかどうかをより明確に判断することができ、転職時のミスマッチを避けることが可能になります。

企業の長期的な展望や戦略を明らかにし、それが自分のキャリア目標や価値観とどのように合致するかを判断しましょう。



## 逆質問の良い質問例

### ポイント3 面接官に聞けなかったことや ホームページに載っていないことを質問する

面接時に面接官やホームページにはない情報を尋ねること  
で、面接官に対して「この事務所に転職したい！」と熱意  
を伝えることができます。

さらに、ホームページなど公式に公開されていない情報を掘り下げるにより、実際の職場環境や文化をより深く理解することが可能になります。このような質問を通じて、事務所の働き方や価値観に合っているかを判断しましょう。



## 逆質問の具体的な質問例

1

- ・ 御社はどんな方が活躍されていらっしゃるのですか？

事務所に求めている人物像を明確にできる  
入社後のミスマッチがなくなりやすい！

2

- ・ 入社後はどんな研修がありますか？
- ・ 研修は定期的にやられているのですか？

研修に対する質問は事務所の教育方針や労働環境を把握しやすいのでおすすめ！

3

- ・ 普段はどれくらいの件数を持たれるんですか？
- ・ 入社後は何件ぐらい持て良いんですか？

あなたも面接官も入社後のイメージがわきやすくなるのでおすすめ！





## 逆質問の具体的な質問例

4

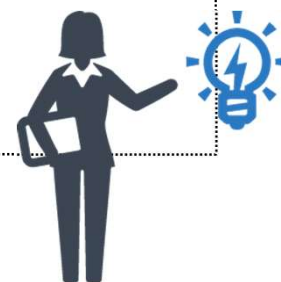
- ・ 入社にあたりどんな準備をすべきですか？
- ・ 御社で使用している〇〇（ツールやサービス名を事前に利用してみていいですか？

具体的な意欲を感じさせる逆質問なのでおすすめ！

5

- ・ 〇〇さん（面接官）は今までどんな経験が一番辛かったですか？
- ・ 〇〇さん（面接官）はどんな経験に一番やりがいを感じましたか？

面接官に対して興味を持つことで好印象を与えられる  
実際の苦労話やPRポイントが聞ける！





## まとめ

逆質問は、他の求職者と差別化できる絶好のチャンスです。意欲・知性・他者理解の姿勢を示すことで、好印象を与られます。

また、入社後のミスマッチも減らせるので、ぜひ積極的に逆質問してみてください。正しい戦略さえ知っておけば、ライバルと差をつけることができ、内定獲得の可能性も高まります。

ただし、何でも質問していいわけではないので、事前にNG行為を把握した上で面接に臨みましょう。



## ミツカルにできること



「面接に受かるための対策をもっと詳しく知りたい」  
「1人で履歴書作成や、面接対策をするのは不安がある」

もし、あなたが本資料をお読みいただきそう感じられたなら・・・  
ぜひミツカルへお気軽にご相談ください。

書類選考、面接に通過し、理想の働き方を実現するためのサポートをします！

## 税理士法人専門の転職プラットフォーム「ミツカル」

ミツカルで最適な職場を見つけて働き方と人生に選択肢を増やしませんか？



ワークライフ  
バランスの取れた  
生活がしたい方



今よりも  
年収を上げたい方



もっとスキルを  
高めてキャリア  
アップしたい方

経験豊富なキャリアアドバイザーが、あなたの転職を親身にサポートします。



### 代表 城之内 楊

これまで、3,000以上の税理士事務所のコンサルティングや士業向けのセミナーに複数登壇。さらにはスタートアップから上場企業まで外部顧問や役員としても活躍する。退職後、税理士業界を活性化するために、税理士事務所の採用支援サービスを展開する株式会社ミツカルを創業。年間2,400名以上の税理士事務所の求職者をサポート。

## 税理士法人専門の転職プラットフォーム「ミツカル」



### ミツカルが選ばれる5つの理由

1

マッチ率の高い事務所から  
オファーが届く

2

厳しい審査を通過した  
事務所のみが登録

3

業界最大手  
地域最大手・特化型事務所  
100社以上が登録

4

好条件求人が豊富で  
選択肢も幅広い

5

今の職場にバレずに  
転職活動ができる

## 税理士法人専門の転職プラットフォーム「ミツカル」



ご登録後すぐにあなたにマッチした求人をお届けします

税理士法人専門の転職プラットフォーム  
「ミツカル」のご登録はこちらから

＼登録は簡単30秒／



ここをクリック

OR



👉 QRコードからもアクセスできます

## ミツカルを利用した実際の転職者の声

### 個人事務所から特化型事務所へ転職



転職期間

1ヵ月

業界経験

5年

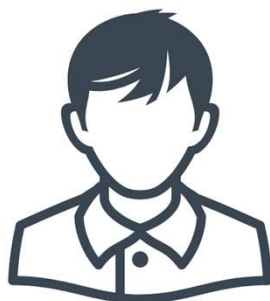
現在の収入

650万円

個人事務所で巡回担当として働いていましたが、訪問先の社長は零細や小規模ばかりでした。年収を上げるためには担当件数や規模感を増やす他なく、資料を期限通りに送ってすらこない企業を相手にしても将来性は無いなと感じていました。資産税にもともと興味がありチャレンジをしたいと思っていたのでミツカルに条件登録。都内の相続特化事務所からまさかのオファーがありました。担当した報酬に対してのインセンティブもよく転職してよかったと感じております。

## ミツカルを利用した実際の転職者の声

### 5大都市から地元の大手事務所へ転職



転職期間

2ヵ月

業界経験

13年

現在の収入

700万円

大阪の中堅事務所でマネージャーとして働いていましたが、両親と子供の事を考え、地元に戻りました。正直年収は下がってますが、地方の生活水準では充分です。休日は家族で一緒に出かけて両親も孫に逢える頻度が増えて喜んでました、今の事務所は地方でも有名な事務所で地域で有名な企業も担当をさせていただいております。ミツカルは登録してすぐにオファーがあったので、登録期間が短くて担当の方もびっくりしてましたが、良いサービスだとは思います。

## ミツカルを利用した実際の転職者の声

### 地方事務所から大手事務所へ転職



転職期間

2ヵ月

業界経験

9年

現在の収入

800万円

転職を決意したのは、将来のキャリアパスと待遇の不一致が理由でした。10年後の幹部ポストを見据えていましたが、幹部の待遇や内情を知るにつれ、責任は増える一方で給与がそれに見合っていないと感じたんです。そんな中、ミツカルさんと出会いました。最初に担当者とお話した時に、とても親切に話をしてくれて、その時点で今回の転職がうまくいくイメージを持つことができました！ミツカルのサービスは、これから転職を考える人にとって非常に価値のあるものだと思います。



## ミツカルを利用した実際の転職者の声

### 地方事務所から大手事務所へ転職



転職期間

2カ月

業界経験

9年

現在の収入

780万円

今回ミツカルさんを利用して転職活動を行いました。カジュアル面談でお話した約8割の企業が私のイメージに合っていました。さらに、カジュアル面談は「うちの事務所に来てほしい」という前提のもと話が進むことが多く、通常の面接とは大きな違いを感じました。一時は進路に迷うこともありましたが、ミツカルのチームが他の企業を紹介してくれたので、私は常にポジティブな姿勢を維持することができました。最終的には、地方の中堅事務所から大手規模の事務所に転職し、新たなキャリアの道を歩み始めています。